

自動運転技術を活用した 新たな路線バスサービスの開発について



2026年7月21日
東急バス株式会社

東急グループについて

東急グループは、1922年の「目黒蒲田電鉄株式会社」設立に始まり、2023年12月末現在、東急株式会社(旧:東京急行電鉄株式会社)を中核企業とした220社7法人で構成する企業グループです。

交通事業を基盤とした「まちづくり」を事業の根幹に置き、不動産、生活サービス、ホテル・リゾートなど、長年にわたって、皆さまの日々の生活に密着したさまざまな分野で事業を進めています。

「美しい時代へ」をスローガンに、人々の多様な価値観に対応した「美しい生活環境の創造」をグループ理念として掲げ、各社の「自立」を前提に、互いに連携しあい、相乗効果を生み出す「共創」を推し進め、信頼され愛される東急ブランドの確立を目指しています。

また、学校法人・財団の活動、全国で展開している東急会の活動などを通して、地域社会に根差した社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

出典:<https://tokyugroup.jp/>

東急グループ主要企業



東急不動産

不動産事業

東急不動産(株) (※2)
(株)東急コミュニティー(※2)
東急プロパティマネジメント(株) (※1)
東急リパブル(株) (※2)
東急建設(株) (※2)
世紀東急工業(株) (※2)
東急不動産ホールディングス(株) (※2)
東急ジオックス(株) (※1)



東急電鉄

交通事業

東急電鉄(株) (※1)
伊豆急行(株) (※1)
上田電鉄(株) (※1)
東急バス(株) (※1)
(株)じょうてつ (※1)
仙台国際空港(株) (※1)
東急テクノシステム(株) (※1)

東急(株)

太字は株式上場会社

※1: 当社子会社

※2: 当社関連会社および
その傘下会社

ホテル・リゾート事業

(株)東急ホテルズ(※1)
東急ホテルズ&リゾート(株) (※1)
(株)スリーハンドレッドクラブ(※1)
東急リゾート&ステイ(株) (※2)
東急リゾート(株) (※2)



東急ホテルズ&リゾート

生活サービス事業

(株)東急百貨店 (※1)
(株)ながの東急百貨店 (※1)
(株)東急ストア (※1)
(株)東急モルズデベロップメント(※1)
東急カード(株) (※1)
(株)東急レクリエーション (※1)
イツ・コミュニケーションズ(株) (※1)
(株)東急キッズベースキャンプ (※1)
東急セキュリティ(株) (※1)
(株)東急エージェンシー (※1)



東急百貨店

現在のバス事業

総車両数: 950両(2024年3月31日現在)

一般乗合旅客自動車運送事業

115路線/659系統

- ・一般路線バス
- ・空港連絡バス
- ・高速バス
- ・定期観光バス

バス停の本数 3,500本

【総走行料】

9万6000km/日 年間:3,500万km
地球(1周:4万km)⇒約2.4周/日

【年間輸送人員】

約1億3800万人/年(2023年度)
日本総人口※とほぼ同等
※約1億2451万人(2023年7月1日現在)

一般貸切旅客自動車運送事業

- ・観光バス
- ・学校遠足
- ・イベント送迎



特定旅客自動車 運送事業

- ・企業/学校/病院などの送迎

自家用自動車 管理業

- ・自家用車両の運行、整備などを総合管理



一般路線バスの運行エリア

オンデマンド運行エリア

【営業所一覧】

淡島営業所(世田谷区)
下馬営業所(世田谷区)
弦巻営業所(世田谷区)
瀬田営業所(世田谷区)
目黒営業所(目黒区)
荏原営業所(品川区)
池上営業所(大田区)
高津営業所(川崎市)
虹が丘営業所(川崎市)
新羽営業所(横浜市)
青葉台営業所(横浜市)
東山田営業所(横浜市)

合計:12営業所

東京都内

- ・渋谷区
- ・目黒区
- ・世田谷区
- ・品川区
- ・大田区
- ・港区

神奈川県内

- ・川崎市
- ・横浜市



■「東急コーチ」 全国初の都市部でのデマンドバスの運行

1975(昭和50)年12月24日に運行を開始。

基本ルートのほかにデマンド区間を設け、バスを呼び出したり、自由に降車ができるなどのタクシーの要素を加えた、従来とは異なる路線バスとして誕生。

※2001(平成13)年3月1日までに全路線が一般路線化



▲デマンド区間に停車する東急コーチ鷺沼線

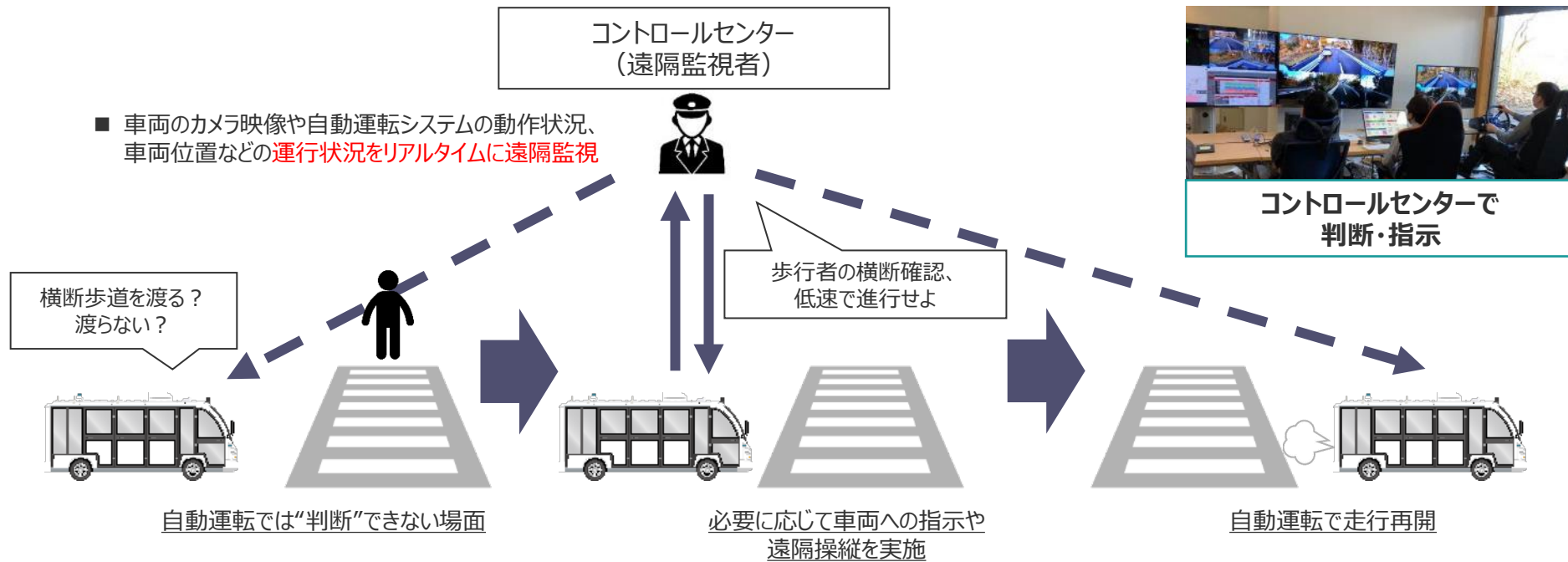
■これまでの当社の取り組み

2019年より東急株式会社にて自動運転に関する取り組みを開始し、
現在は事業化を見据え東急バス株式会社主体で実証を運営



■当社が取り組む自動運転の特徴

自動運転車両の監視・アシスト・操縦を実施
将来的には 1 人の遠隔監視者が複数台の自動運転車両を運行管理する



運転席は無人



- ・ コントロールセンターからの監視・判断・指示のみによる自動運転を実施
- ・ 現在は複数台（1:N）のオペレーションの検証

■静岡県における取り組み



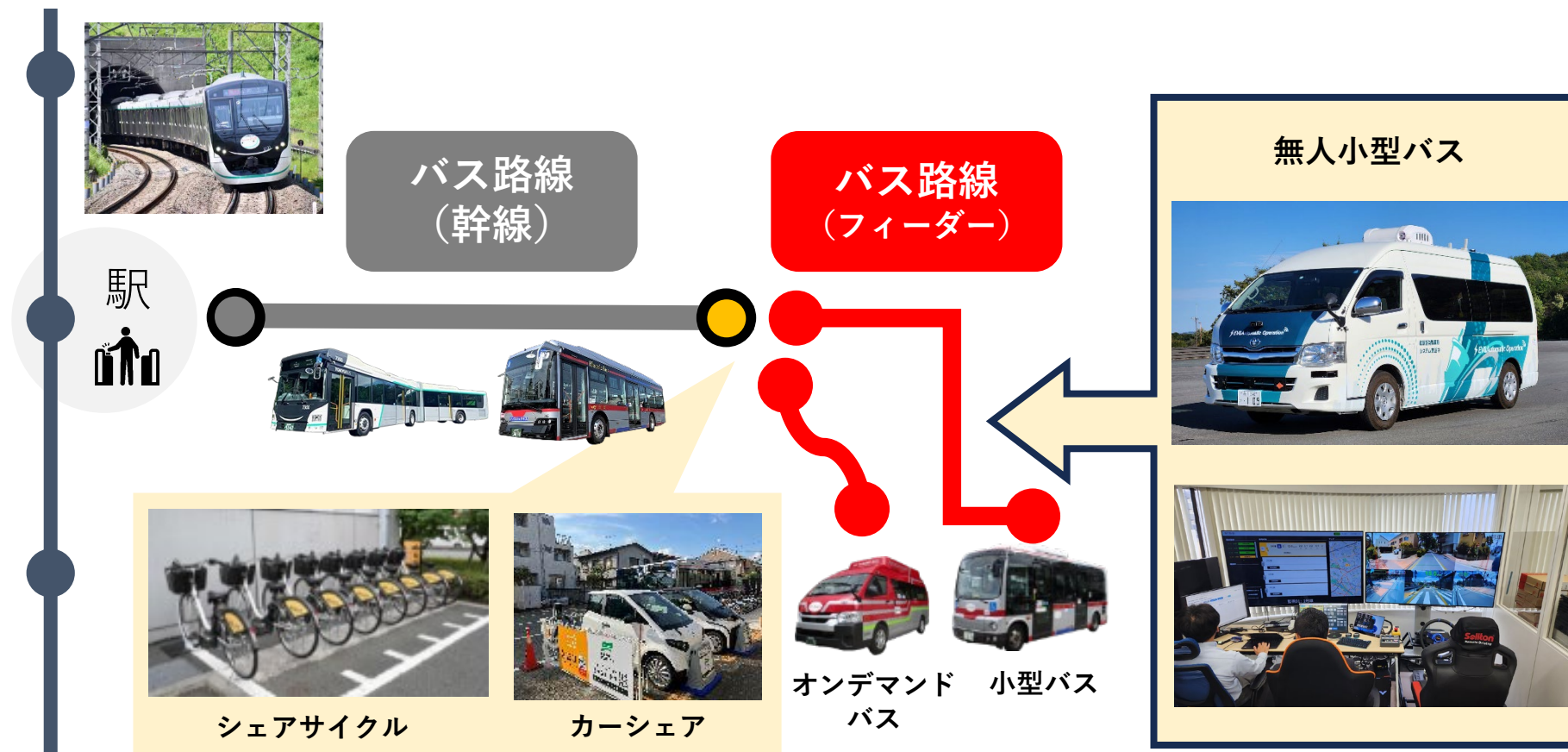
静岡県内の複数都市で「自動運転移動サービスの実用化」に向けた取り組みを推進

■地域交通における無人運行の適用範囲



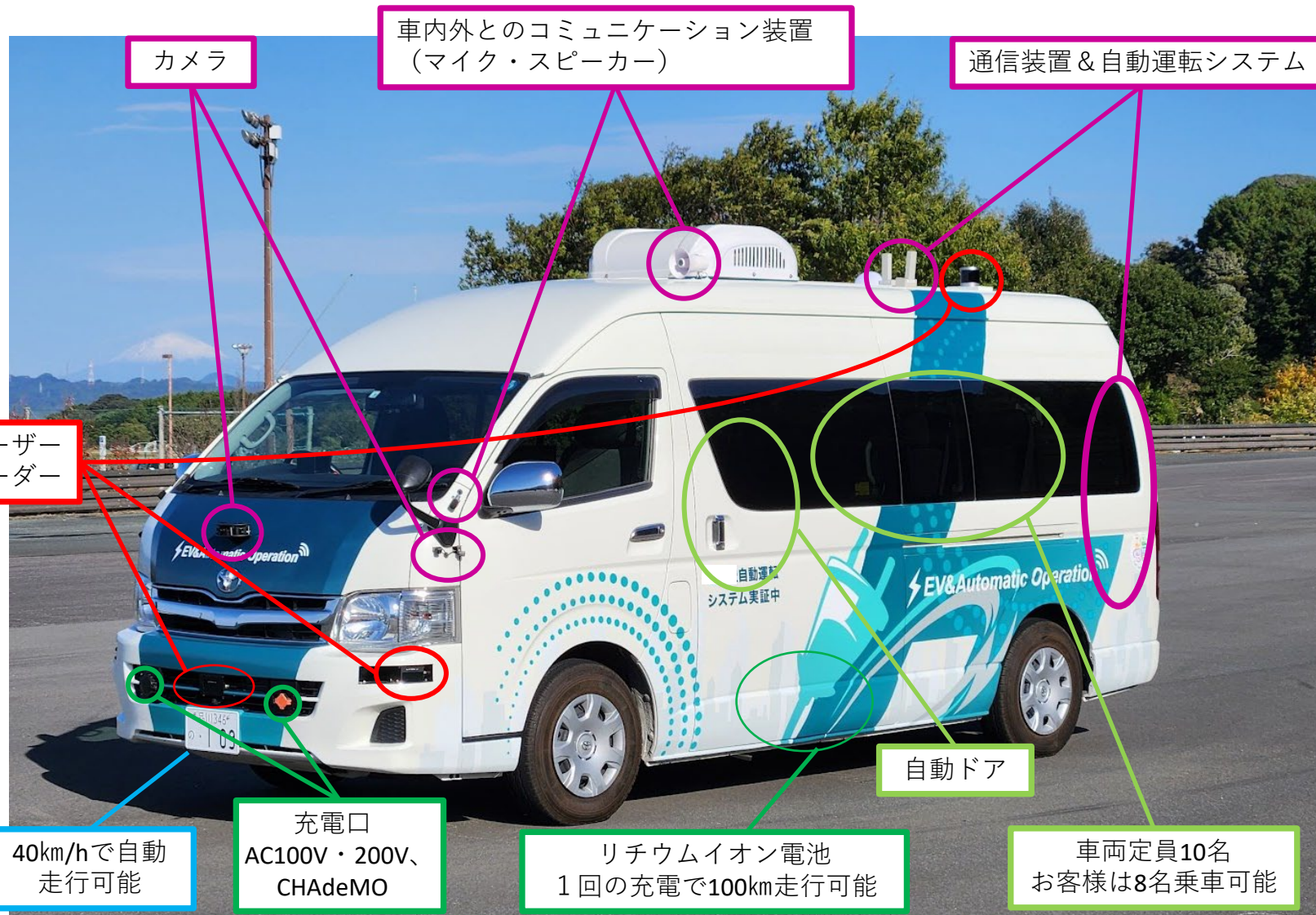
少量かつ短距離の輸送から実装が進んでいくものと想定

■ 自動運転移動サービスの適用範囲



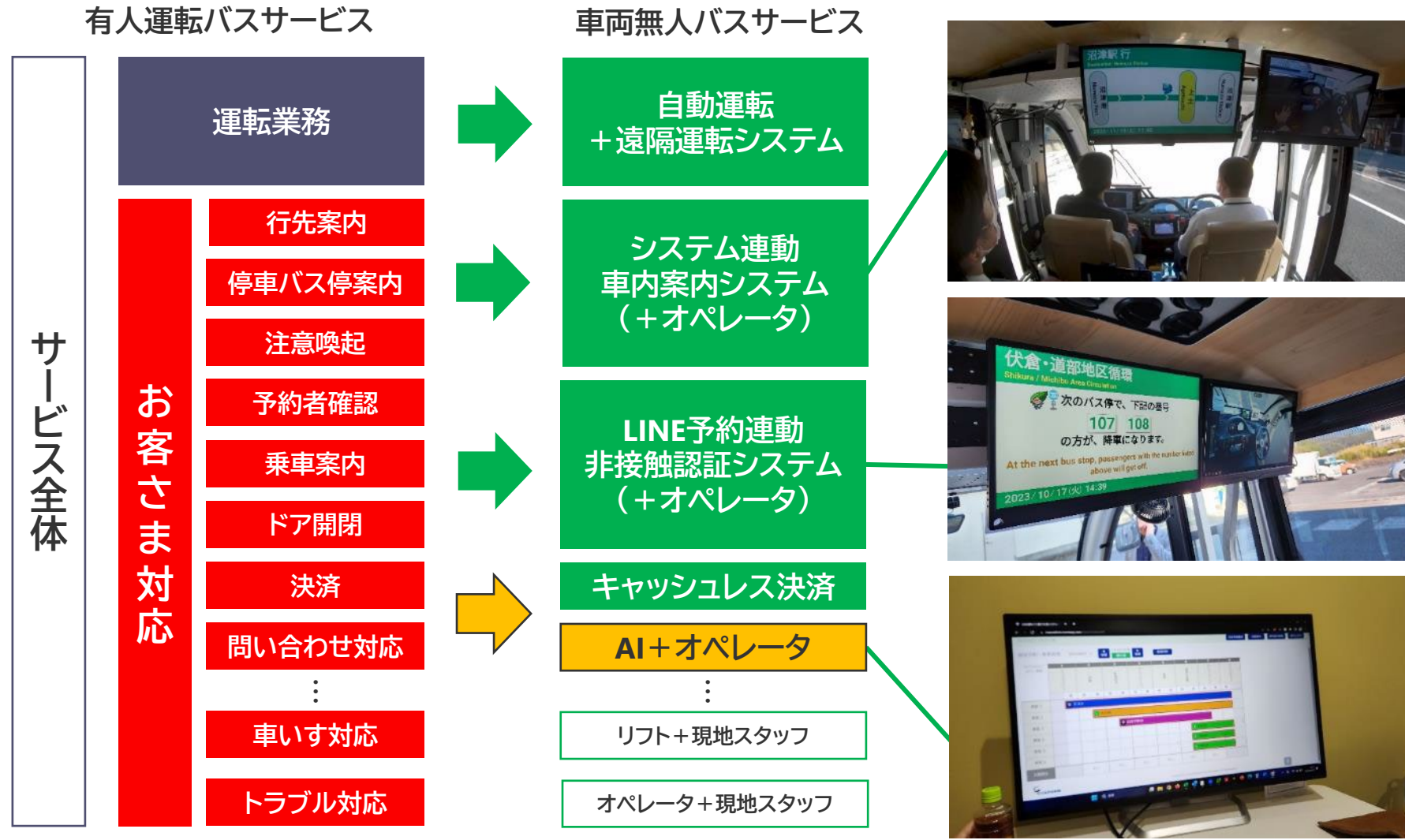
幹線に接続するフィーダー路線への適用が有力と考えられる

■地域交通向け自動運転EV開発



諸元	
最高速度（自動運転時）	120km/h（40km/h）
全長・全幅・全高 （mm）	5380・1880・2510
乗車定員	10名（乗客8名）
1充電走行距離	100km
充電規格	AC100V・200V、CHAdeMO
自動運転レベル	レベル2 （レベル4申請予定）
遠隔監視・操縦システム	監視者1：車両3台以上 監視
自動ドア	○
旅客案内・認証システム	搭載予定
ハードウェア設計	東急バス・ 東急テクノシステム
自動運転ソフトウェア	ADENU（名古屋大学）

運用ノウハウの集積、運営コストの低減を目的とし、自社で車両開発を実施



運転業務以外のサービスの自動化・高度化を実施

■コントロールセンターの機能

監視モニター

- 2両を同時監視、選択した車両のリアルタイム映像を大画面で表示
- カメラは1両あたり12台設置、車内も撮影している
- 車両と遠隔監視設備間の電波・通信状況をキャリア回線別に表示
- 自動運転システムの動作状況を確認

予約管理・案内システム

- LINE予約システムの予約状況管理
- 車内案内システムの制御
- 信号連動装置の作動状況確認

遠隔運転席

- 映像の遅延（タイムラグ）を0.2秒以内に短縮した、遠隔運転専用ディスプレイ
- 6台のカメラ映像を使用し、遠隔運転を実施

操作パネル

- ① 監視モニターに表示する車両・映像を選択
- ② 音声装置の選択（車内、車外⇄コントロールセンター）
- ③ ボタン操作で自動運転車両の発車・停止等を制御
- ④ 緊急停止ボタン



ココロをのせて、明日へ。

 東急バス



Copyright ©2026 Tokyu Bus Corporation CO.,LTD. All rights reserved.

■渋谷地区での実証実験

● 実証実験概要

項 目	内 容
走行区間	渋谷駅西口フクラス～スクランブル交差点～ファイヤー通り～渋谷区役所～渋谷駅東口～渋谷駅西口フクラス
使用車両	ハイエースEV(定員10名、旅客8名乗車可能)
運行期間	9月29日～10月31日(期間中の平日を予定)
コントロールセンター	東急バス本社
その他	・乗車対象者は行政等の当社関係者のみ

運行ルート



■東急バス路線における無人運行



2026-02-10 15:04:25
Control Center



■課題への対応

課題	東急バスの対応
車両・システム費用が高額	補助金に頼らず内製化・共同開発
運営に大型二種免許所持者が必要 (効率化につながらない)	大型二種免許不要のシステムを内製化
路線収支が合わない	国・自治体等からの運行予算確保 他社様との共同運営（路線選定）
運用ノウハウがない	実証運営の内製化
安全性が不明	共同開発
事故時の責任分担が不明確	ロビー活動
バス遠隔サービス用の 運行管理システムがない	自社開発

■将来の自動運転社会に対する全方位戦略

1. 遠隔管制による働き方改革・人材確保



2. 自動運転導入支援・遠隔管制支援の受託



3. 自動運転関連技術の大型バスへの展開



東急テクノシステム

4. EVおよび自動運転車両の製作・架装・整備



■バス会社を主体としたコンソーシアムの設立

公共交通事業のDX推進コンソーシアム 2026年2月25日～

◇背景

近年、全国各地でバス・タクシーなどの公共交通の縮小のに対する解決策の一つとして自動運転技術の開発・導入が注目されていますが、**これまでの取り組みは車両技術開発に偏重し、公共交通の視点、課題が十分に反映されていないのが現状**

◇目的

公共交通の担い手である**バス事業者が中心となり、自動運転技術等を活用したサステナブルな公共交通の新たなかたちを創出する。**

長年にわたり培ってきた安全・安心で便利な運行・運営の知見と、先進的なバス運行に関するさまざまなDX（デジタルトランスフォーメーション）に向けたシステムや自動運転技術との融合をめざす。

<事務局>

東急バス株式会社、京浜急行バス株式会社、
パシフィックコンサルタンツ株式会社、
株式会社エヌケービー、東京都市大学

<参加交通会社>

宮城交通株式会社、しずてつジャストライン株式会社、
静岡鉄道株式会社、神姫バス株式会社、大阪市高速電気
軌道株式会社、大阪シティバス株式会社、東急株式会社、
その他見学のバス会社複数